

設計業務委託特記仕様書

I 業務概要等

1. 業務名称 旧煉瓦製造施設管理活用棟建設等工事設計業務委託2. 履行期間 契約日から令和7年3月31日まで3. 業務概要 旧煉瓦製造施設管理活用棟建設等工事（駐車場整備を含む）に係る基本設計・実施設計業務

4. 適用

本特記仕様書に記載されていない事項は、「埼玉県建築設計業務委託共通仕様書」による。

本特記仕様書に記載された特記事項については、「□」印、「※」印及び「■」印の付いた項目については、「■」印が付いたものを適用する。「■」印の付かない場合は「※」印を適用する。「■」印と「☒」印が付いた場合は共に適用する。

耐震安全性の分類は、官庁施設の総合耐震・対津波計画基準による。

5. 設計と条件

(1) 敷地の条件

a. 所在地 深谷市上敷免28番地11
 b. 敷地面積 4499.90 m²
 c. 用途地域 指定なし
 d. 防火地域 防火 準防火 指定なし
 e. 地域地区等 市街化調整区域

(2) 施設の条件

a. 施設名称 旧煉瓦製造施設（ホフマン輪窯6号窯）
 b. 施設用途 国指定重要文化財

(3)-1 建築物の条件

a. 棟名称 旧煉瓦製造施設管理活用棟
 b. 建築物用途 文化財（ホフマン輪窯6号窯）に隣接する展示施設
（平成31年国土交通省告示第98号別添二第5号第2類）
 c. 面積 工事対象面積 600 m²程度
 d. 構造、階数 鉄骨造（準耐火建築物以上）。階数指定なし。
 e. 耐震安全性の分類
 構造体 Ⅱ類
 建築非構造部材 B類
 建築設備 乙類
 f. 工事種別 新築 増築 改築 解体 改修

(3)-2 その他の条件

- a. 名称 ホフマン輪窯6号窯内の飲食エリア
- b. 用途 飲食
- c. 土地面積 工事対象面積 約 120 m²
- d. 工事種別 新設 増築 改築 解体 改修
什器設備、配線、保護床等のデザイン一式

(3)-3 その他の条件

- a. 名称 ホフマン輪窯6号窯の鉄骨補強被覆外壁
- b. 用途 外壁
- c. 土地面積 工事対象規模 高さ約 2.5m、外周の長さ約 165.8m
- d. 工事種別 新設 増築 改築 解体 改修
鉄骨補強材への取り付け

(3)-4 その他の条件

- a. 名称 係員用駐車場
- b. 用途 係員用駐車場
- c. 土地面積 工事対象規模 車 10 台分程度
- d. 工事種別 新設 増築 改築 解体 改修

(4) 計画の条件

- a. 設計方針 以下について特に配慮した計画とすること。
([] 内の数字は優先順位を示す。)
コスト縮減 []、工期の短縮 []、工事現場の省人化 []、
工事中の施設運営 []、メンテナンスの容易性 [3]、
デザイン性 [2]、プロポーザル提案による [1]
- b. 目標工事費 7億円(税込)以下
- c. 予定工期 管理活用棟建設等：令和7年4月から令和9年3月まで(予定)

(5) 同施設関連の別発注業務

- 無し
- 有り(業務名称 _____)

(6) 設計と条件の資料

設計と条件については、次の資料による。

- 配置図 (別紙1)
- ホフマン輪窯1階平面図 (別紙2)
- ホフマン輪窯2階平面図 (別紙3)
- 西側立面図 (別紙4)
- 北側立面図 (別紙5)
- 東側立面図 (別紙6)
- 南側立面図 (別紙7)
- 桁行断面図 (別紙8)
- 梁間断面図 (別紙9)

- 求積図 1 窯、木造覆屋 (別紙10)
- 求積図 2 屋根 (別紙11)
- 求積図 3 耐震補強鉄骨 (別紙12)
- 地積測量図 (別紙13)
- 必要諸室表 (別紙14)
- ホフマン輪窯6号窯等展示活用事業 基本計画 (資料1)

II 業務仕様

1. 設計業務の内容及び範囲

(1) 一般業務の範囲

a. 基本設計に関する標準業務

業務内容 (新築工事の設計業務は、平成31年国土交通省告示第98号別添一第1項に掲げるもの)		業務分野					
		総合	構造	設備			
				電気	給排水衛生	空調換気	昇降機等
新築工事の設計業務	(1)(i)条件整理	■	■	■	■	■	■
	(1)(ii)設計条件変更等の場合の協議	■	■	■	■	■	■
	(2)(i)法令上の諸条件の調査	■	■	■	■	■	■
	(2)(ii)計画通知関係機関打合せ	■	■	■	■	■	■
	(3)インフラ状況調査、関係機関打合せ	■	■	■	■	■	■
	(4)(i)総合検討	■	■	■	■	■	■
	(4)(ii)設計方針策定及び発注者説明	■	■	■	■	■	■
(5)基本設計図書の作成	■	■	■	■	■	■	
(6)概算工事費の検討	■	■	■	■	■	■	
(7)基本設計内容の発注者への説明等	■	■	■	■	■	■	
改修工事の設計業務	(1)(i)条件整理	□	□	□	□	□	□
	(1)(ii)設計条件変更等の場合の協議	□	□	□	□	□	□
	(2)法令上の諸条件の調査	□	□	□	□	□	□
	(3)インフラ状況調査、関係機関打合せ	□	□	□	□	□	□
	(4)(i)総合検討	□	□	□	□	□	□
	(4)(ii)設計方針策定及び発注者説明	□	□	□	□	□	□
	(5)基本設計図書の作成	□	□	□	□	□	□
(6)概算工事費の検討	□	□	□	□	□	□	
(7)基本設計内容の発注者への説明等	□	□	□	□	□	□	

b. 実施設計に関する標準業務

(工事施工段階で設計者が行うことに合理性がある標準業務は含まない)

業務内容 (新築工事の設計業務は、平成 31 年国土交通省告示第 98 号別添一第 1 項に掲げるもの)		業務分野					
		総合	構造	設備			
				電気	給排水衛生	空調換気	昇降機等
新築工事の設計業務	(1)(i)発注者の要求等の確認	■	■	■	■	■	■
	(1)(ii)設計条件変更等の場合の協議	■	■	■	■	■	■
	(2)(i)法令上の諸条件の調査	■	■	■	■	■	■
	(2)(ii)計画通知関係機関の打合せ	■	■	■	■	■	■
	(3)(i)総合検討	■	■	■	■	■	■
	(3)(ii)基本事項の確定	■	■	■	■	■	■
	(3)(iii)設計方針策定及び発注者説明	■	■	■	■	■	■
	(4)(i)実施設計図書の作成	■	■	■	■	■	■
	(4)(ii)計画通知図書の作成	■	■	■	■	■	■
	(5)概算工事費の検討	■	■	■	■	■	■
(6)実施設計内容の発注者への説明等	■	■	■	■	■	■	
改修工事の設計業務	(1)(i)発注者の要求等の確認	■	■	■	■	■	■
	(1)(ii)設計条件変更等の場合の協議	■	■	■	■	■	■
	(2)法令上の諸条件の調査	■	■	■	■	■	■
	(3)(i)総合検討	■	■	■	■	■	■
	(3)(ii)基本事項の確定	■	■	■	■	■	■
	(3)(iii)設計方針策定及び発注者説明	■	■	■	■	■	■
	(4)実施設計図書の作成	■	■	■	■	■	■
	(5)概算工事費の検討	■	■	■	■	■	■
(6)実施設計内容の発注者への説明等	■	■	■	■	■	■	

(2) 追加業務の内容及び範囲

■建築積算	見積の収集、見積検討資料、見積一覧表、積算数量算出書（積算数量調書を含む）、複合単価等資料及び営繕工事積算チェックマニュアルによるチェックリストの作成
■設備積算（電気）	
■設備積算（給排水衛生）	
■設備積算（空調換気）	
■設備積算（昇降機等）	

■日影図の作成（計画通知添付図面は含まない）

■透視図の作成	種類： 内観、外観	判の大きさ： A3判
	額の有無： ■有り □無し	額の材質： 指定なし
□模型の製作	縮尺：	主要材料：
	ケースの有無： □有り □無し	ケースの材質：
□模型の写真撮影	カット枚数：	判の大きさ：
	白黒/カラー：	

■工期検討資料（概略工事工程表及び根拠資料）の作成

□リサイクル計画書の作成

□アスベスト含有	分析調査方法（定性分析） □1481-1 □1481-2 □いずれか
----------	------------------------------------

建材の分析調査 及び調査報告書 の作成	[JIS A1481]： (定量分析) <input type="checkbox"/> 1481-3 <input type="checkbox"/> 1481-4 <input type="checkbox"/> いずれか
	調査検体数： 必要箇所
	調査対象室、 協議による 部分又は建材：

アスベスト含有建材の除去に関する所管行政部署（大気環境、廃棄物処理、労働環境）との協議及び協議結果報告書の作成

<input type="checkbox"/> 既存建築物の CAD 図面の作成	既存紙図面： <input type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し
	作図対象：
<input type="checkbox"/> 既存施設の詳細調査及び報告書 作成（改修設計に係るもの）	調査対象：
<input type="checkbox"/> 既存施設の法適合状況調査及び 報告書作成(計画通知に係るもの)	調査対象：

建築確認に関する関係機関との打合せ（改修設計に係るもの）

建築確認図書の作成（改修設計に係るもの）

■建築確認に関する申請手続

■構造計算適合性判定申請手続

深谷市開発行為等指導要綱に基づく事前協議手続

■都市計画法施行規則第60条に基づく書面（適合証明）の交付申請手続

中高層建築物等指導要綱等に基づく住民説明（説明会形式、個別説明形式）、
標識看板の作成・設置・撤去、事業報告書の作成及び申請手続

■埼玉県福祉のまちづくり条例に関する申請手続

■ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例に関する届出手続

■埼玉県景観条例及び埼玉県景観計画に基づく申請手続

■土壤汚染対策法に基づく協議

住宅の品質確保の促進等に関する法律に基づく設計住宅性能評価申請手続

消防法施行令第32条に基づく申請手続

防災計画評定又は防災性能評定に関する資料の作成及び申請手続

■建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律第34条第1項に規定する建築物
エネルギー消費性能向上計画の認定に関する業務（モデル建物法による省エネルギー
適合判定業務は標準業務に含まれる）

都市の低炭素化の促進に関する法律第53条第1項に規定する低炭素建築物新築等
計画の認定に関する業務

■建築物総合環境性能評価システム(CASBEE)による評価書の作成

■埼玉県建築物環境配慮制度（CASBEE 埼玉県）に関する申請手続（総合的な環境保全
に関する検討・評価資料の作成を含む）

災害応急対策活動に必要な施設その他特別な性能、機能、設備等を有する官庁施設の
設計等における特別な検討及び資料の作成（建築非構造部材の耐震安全性に関する
特別な検討、特殊な設備機器を有する室の設計に係る特別な検討等）

官庁施設の計画から建設、運用、廃棄に至るまでのライフサイクルを通じた二酸化炭
素排出量等を用いて行う総合的な環境保全性能の評価(詳細な LCC02 を求める場合)

実験設備に関する検討及び資料の作成

電波障害対策等の資料収集、机上検討及び報告書の作成

内部雷保護設備に関する検討及び資料の作成

- 構内情報通信網設備に関する検討及び資料の作成
- 音声誘導設備に関する検討及び資料の作成
- 排水処理設備に関する検討及び資料の作成
- 雨水・排水再利用設備に関する検討及び資料の作成
- 蓄熱システムに関する検討及び資料の作成
- 設計の点検実施要領に基づく総合的なコスト縮減の検討及び資料の作成
- 敷地、土地の高低測量業務
- 土質ボーリング業務

2. 業務の実施

(1) 一般事項

- a. 基本設計業務は、提示された設計と条件及び適用基準に基づき行う。
- b. 実施設計業務は、提示された設計と条件、基本設計図書及び適用基準に基づき行う。
- c. 施設の計画にあたっては、各種ハザードマップで想定されている所在地における災害（浸水、土砂災害、地震等）を考慮し、室や機器の位置、構造等を決定する。
- d. 材料や工法等の選定にあたっては、維持管理費用を含めた比較を行う。
- e. 積算業務は、監督員の承諾を受けた実施設計図書及び適用基準に基づいて行う。
また、積算業務の各過程において営繕工事積算チェックマニュアルにより確認し、チェックリストは監督員の承諾を受ける。
- f. 工期検討にあたっては、(一社)日本建設業連合会「建築工事適正工期算定プログラム」や同種の施工実績等を考慮する。
- g. 設計の点検における点検時期は、設計方針の策定段階とする。点検実施日の決定のため、受注者は、設計方針の検討状況を監督員に適宜報告する。
- h. 同施設関連の別発注業務との調整は、本仕様書Ⅱ 1. (1)一般業務の範囲で「総合」を指定されたものを行い、調整経過を監督員へ報告する。
- i. 設計にあたっては、深谷市産建設資材の積極的な利用の検討を行う。
- j. 受注者は庁内会議、市議会等と合意形成を図るために、それらの意見を参考にするほか、発注者の求めに応じて資料の作成、説明等の協力をするものとする。
- k. 発注者の指示により検討を求められた事項については、技術的検討を行い、その結果を報告し指示を受けるものとする。

(2) 適用基準等

別紙1に掲げる技術基準等を適用する。なお、新たな版が出た場合、基準間に相違がある場合又は当該基準等によりがたい場合は、監督員と協議し、適用する基準等を決定する。

(3) 業務実績情報の登録（公共建築設計者情報システム（PUBDIS）への業務カルテ登録）

- 業務実績情報を登録しない
- 業務実績情報を登録する

(4) 業務計画書

- a. 業務工程には、各業務の作業期間、現地調査等の実施時期、図面の初稿完成予定時期、積算数量算出書の作成完了予定時期等を記載する。
- b. 基本設計は、令和7年3月31日までに完了させるものとする。

(5) 管理技術者の資格要件

管理技術者の資格要件は次による。

- a. 建築士法（昭和 25 年法律第 202 号）第 2 条第 2 項による一級建築士
- b. 「旧煉瓦製造施設管理活用棟建設工事設計業務プロポーザル実施要領」に基づき提出した配置予定技術者調書に管理技術者として記載している者。ただし、やむを得ない理由により変更を行う場合には、同等以上の技術者であるとの承諾を発注者から得るものとする。

(6) 貸与品等

貸与品等	製本等/ 電子データ	摘要
■日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設 近代化遺産等重点保存修理 報告書	製本	
■重要文化財日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設保存活用計画 改訂版	電子データ	

貸与場所 文化振興課、貸与時期 業務着手時
返却場所 文化振興課、返却時期 契約期間内

(7) 打合せ及び記録

打合せは次の時期に行い、速やかに打合せ記録簿を作成し、監督員に提出する。

- a. 業務着手時
- b. 監督員又は管理技術者が必要と認めた時
- c. 施設管理者に確認すべき事項が生じた時

(8) 成果物等の情報の適正な管理

- a. 次に掲げる措置その他必要となる措置を講じ、契約書の秘密の保持等の規定を遵守のうえ、成果物等の情報を適正に管理する。

なお、発注者は措置の実施状況について報告を求めることができる。また、不十分であると認められる場合には、是正を求めることができるものとする。

成果物等とは、

ア. 業務の成果物（未完成の成果物を含む。）

イ. その他業務の実施のため、作成され、又は交付、貸与等されたもの

等とし、紙媒体によるもののほか、これらの電子データ等を含むものとする。

- (a) 発注者の承諾無く、成果物等の情報を業務の履行に関係しない第三者に閲覧させる、提供するなど（ホームページへの掲載、書籍への寄稿等を含む）しない。
- (b) 業務の履行のための協力者等への成果物等の情報の交付等は、必要最小限の範囲について行う。
- (c) 貸与品等の情報については、業務の履行に必要な範囲に限り使用するものとし、(6)により監督員に返却する。また、複製等については、適切な方法により消去又は廃棄する。
- (d) 契約の履行に関して知り得た秘密については、契約書に規定されたとおり秘密の保持が求められるものとなるので特に取扱いに注意する。

- b. 成果物等の情報の紛失、盗難等が生じたこと又は生じたおそれが認められた場合は、速やかに発注者に報告し、状況を把握するとともに、必要となる措置を講ずる。
- c. 上記 a 及び b の規定は、契約終了後も対象とする。
- d. 上記 a、b 及び c の規定は、協力者等に対しても対象とする。

(9) その他、業務の履行に係る条件等

a. 指定部分の範囲 _____

□指定部分の履行期限 令和 年 月 日

b. 成果物の提出場所 文化振興課 _____

c. 成果物の取扱いについて

提出された CAD データについては、当該施設に係る工事の受注者に貸与し、当該工事における施工図の作成、当該施設の完成図の作成及び完成後の維持管理に使用することがある。

d. 写真の著作権の権利等について

受注者は写真の撮影を再委託する場合は、次の事項を条件とすること。

- (a) 写真は、市が行う事務並びに市が認めた公的機関の広報に無償で使用することができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- (b) 次に掲げる行為をしてはならない。(ただし、あらかじめ発注者の承諾を受けた場合は、この限りではない。)

ア. 写真を公表すること。

イ. 写真を他人に閲覧させ、複製させ、又は譲渡すること。

e. 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置について

- (a) 本業務において、暴力団員等による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否すること。また、不当介入を受けた時点で速やかに警察に通報を行うとともに、捜査上必要な協力を行うこと。下請負人等が不当介入を受けたことを認知した場合も同様とする。
- (b) (a)により警察に通報又は捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記載した書面により発注者に報告すること。
- (c) (a)及び(b)の行為を怠ったことが確認された場合は、指名停止等の措置を講じることがある。
- (d) 本業務において、暴力団員等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

3. 成果物、提出部数等

(1) 基本設計

成果物等	標準縮尺	紙出力	摘要
a. 建築（総合） 建築（総合）基本設計図書 ■計画説明書 ■仕様概要書 ■仕上概要表 ■面積表及び求積図 ■敷地案内図 ■配置図 ■平面図（各階） ■断面図 ■立面図（各面） ■工事費概算書 ■仮設計画概要書	適宜	図面 A3 判 その他資料 A4 判 部数は監督 員の指示に よる	CAD データの作成 は A1 判図面と し、A3 判の提出に ついては、これを 縮小印刷したもの とする。 設計図には A1 判 及び A3 判双方の 縮尺を明記するこ と
b. 建築（構造） 建築（構造）基本設計図書 ■構造計画説明書 ■構造設計概要書 ■工事費概算書	a. と同じ	a. と同じ	a. と同じ
c. 電気設備 電気設備基本設計図書 ■電気設備計画説明書 ■電気設備設計概要書 ■工事費概算書	a. と同じ	a. と同じ	a. と同じ
d. 給排水衛生設備 給排水衛生設備基本設計図書 ■給排水衛生設備計画説明書 ■給排水衛生設備設計概要書 ■工事費概算書	a. と同じ	a. と同じ	a. と同じ
e. 空調換気設備 空調換気設備基本設計図書 ■空調換気設備計画説明書 ■空調換気設備設計概要書 ■工事費概算書	a. と同じ	a. と同じ	a. と同じ
f. 昇降機設備等 昇降機設備等基本設計図書 ■昇降機設備等計画説明書 ■昇降機設備等設計概要書 ■工事費概算書	a. と同じ	a. と同じ	a. と同じ
g. その他 ■透視図	A3	A3	外観、内観各 2 枚

成果物等	標準縮尺	紙出力	摘要
<input type="checkbox"/> 模型 <input type="checkbox"/> リサイクル計画書 <input checked="" type="checkbox"/> 建築物総合環境性能評価システム (CASBEE) 目標値報告書 <input type="checkbox"/> LCEM ツールによる空調システムの評価報告書 <input checked="" type="checkbox"/> 各種技術資料 <input checked="" type="checkbox"/> 各記録書	A4 A4 A4	A4 A4 A4	

(2) 実施設計

成果物等	標準縮尺	紙出力	摘要
<p>a. 建築（総合）</p> <p>建築（総合）設計図</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 建築物概要書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 仕上表 <input checked="" type="checkbox"/> 面積表及び求積図 <input checked="" type="checkbox"/> 敷地案内図 <input checked="" type="checkbox"/> 配置図 <input checked="" type="checkbox"/> 平面図（各階） <input checked="" type="checkbox"/> 断面図 <input checked="" type="checkbox"/> 立面図（各面） <input checked="" type="checkbox"/> 矩計図 <input checked="" type="checkbox"/> 展開図 <input checked="" type="checkbox"/> 天井伏図（各階） <input checked="" type="checkbox"/> 平面詳細図 <input checked="" type="checkbox"/> 部分詳細図（断面含む） <input checked="" type="checkbox"/> 建具表 <input checked="" type="checkbox"/> 外構図 <input checked="" type="checkbox"/> 什器・備品仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 総合仮設計画図 <input checked="" type="checkbox"/> 工事費概算書 <input checked="" type="checkbox"/> 建築確認に必要な図書 <input type="checkbox"/> 中高層建築物の届出に必要な図書 <input type="checkbox"/> _____ 	適宜	<p>図面</p> <p>バラ</p> <p>A3判 3部</p> <p>A判 部</p> <p>図面</p> <p>2つ折製本</p> <p>A3判 3部</p> <p>A判 部</p> <p>その他資料</p> <p>A4判 1部</p>	<p>CAD データの作成は A1 判図面とし、A3 判の提出については、これを縮小印刷したものとす。</p> <p>文字は A1 判図面において、高さ・幅共 4.5 mm 以上とすること(寸法 引出含む)</p> <p>設計図には A1 判及び A3 判双方の縮尺を明記すること</p>
<p>b. 建築（構造）</p> <p>建築（構造）設計図</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 仕様書 <input checked="" type="checkbox"/> 構造基準図 <input checked="" type="checkbox"/> 伏図（各階） <input checked="" type="checkbox"/> 軸組図 	a. と同じ	a. と同じ	<p>CAD データの作成は A1 判図面とし、A3 判の提出については、これを縮小印刷したものとす。</p>

成果物等	標準縮尺	紙出力	摘要
<ul style="list-style-type: none"> ■部材断面表 ■各部断面図 ■標準詳細図 ■各部詳細図 ■構造計算書 ■構造計算データ ■工事費概算書 ■建築確認に必要な図書 <input type="checkbox"/> _____ 			<p>とする。</p> <p>文字は A1 判図面において、高さ・幅共 4.5 mm以上とすること(寸法・引出含む)</p> <p>設計図には A1 判及び A3 判双方の縮尺を明記すること</p>
<p>c. 電気設備</p> <p>電気設備設計図</p> <ul style="list-style-type: none"> ■仕様書 ■敷地案内図 ■配置図 ■配線図、平面図 ■詳細図、系統図 ■機器表、器具表 ■電気設備設計計算書 ■工事費概算書 ■建築確認に必要な図書 <input type="checkbox"/> 中高層建築物の届出に必要な図書 <input type="checkbox"/> _____ 	a. と同じ	a. と同じ	<p>設計図の文字は A3 判出力時に高さ・幅共 2.0 mm以上となること(寸法・引出含む)</p>
<p>d. 給排水衛生設備</p> <p>給排水衛生設備設計図</p> <ul style="list-style-type: none"> ■仕様書 ■敷地案内図 ■配置図 ■平面図 ■詳細図、系統図 ■機器表、器具表 ■給排水衛生備設計計算書 ■工事費概算書 ■建築確認に必要な図書 <input type="checkbox"/> 中高層建築物の届出に必要な図書 <input type="checkbox"/> _____ 	a. と同じ	a. と同じ	<p>設計図の文字は A3 判出力時に高さ・幅共 2.0 mm以上となること(寸法・引出含む)</p>
<p>e. 空調換気設備</p> <p>空調換気設備設計図</p> <ul style="list-style-type: none"> ■仕様書 ■敷地案内図 ■配置図 	a. と同じ	a. と同じ	<p>設計図の文字は A3 判出力時に高さ・幅共 2.0 mm以上となること(寸法・引出</p>

成果物等	標準縮尺	紙出力	摘要
<ul style="list-style-type: none"> ■平面図 ■詳細図、系統図 ■機器表、器具表 ■空調換気設備設計計算書 ■工事費概算書 ■建築確認に必要な図書 <input type="checkbox"/>中高層建築物の届出に必要な図書 <input type="checkbox"/> 			含む)
<p>f. 昇降機設備等</p> <p>昇降機設備設計図</p> <ul style="list-style-type: none"> ■仕様書 ■敷地案内図 ■配置図 ■平面図 ■詳細図、系統図 ■機器表、器具表 ■昇降機設備設計計算書 ■工事費概算書 ■建築確認に必要な図書 <input type="checkbox"/>中高層建築物の届出に必要な図書 <input type="checkbox"/> 	a. と同じ	a. と同じ	設計図の文字は A3 判出力時に高さ・幅共 2.0 mm以上となること(寸法・引出含む)
<p>g. 積算</p> <ul style="list-style-type: none"> ■建築積算資料 ■電気設備積算資料 ■給排水衛生設備積算資料 ■空調換気設備積算資料 ■昇降機設備等積算資料 <p>各積算資料は以下の図書で構成する</p> <ul style="list-style-type: none"> 積算数量算出書 積算数量調書 単価資料 見積一覧表等見積検討資料 見積書 営繕工事積算チェックリスト 			
<p>h. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ■日影図 ■透視図 <input type="checkbox"/>模型 <input type="checkbox"/>模型写真 ■工期検討資料 <input type="checkbox"/>リサイクル計画書 <input type="checkbox"/>アスベスト含有建材調査報告書 <input type="checkbox"/>アスベスト含有建材除去に関する 	a. と同じ	a. と同じ	

成果物等	標準縮尺	紙出力	摘要
<p>所管行政部署との協議結果報告書</p> <p><input type="checkbox"/>既存建築物のCAD図面</p> <p><input type="checkbox"/>既存施設の調査報告書 (改修設計)</p> <p><input type="checkbox"/>既存施設の法適合状況調査報告書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>建築確認図書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>構造計算適合性判定申請図書</p> <p><input type="checkbox"/>深谷市開発行為等指導要綱に基づく事前協議同意書</p> <p><input type="checkbox"/>都市計画法第34条の2に基づくみなし許可証</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>都市計画法施行規則第60条に基づく書面の交付申請図書</p> <p><input type="checkbox"/>中高層建築物の届出書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>福祉のまちづくり条例に基づく通知図書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ふるさと埼玉の緑を守り育てる条例に関する届出書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>埼玉県景観条例及び埼玉県景観計画に基づく通知書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>土壌汚染対策法に基づく協議書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>CASBEE 埼玉に関する評価書</p> <p><input type="checkbox"/>電波障害対策等の協議結果報告書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>敷地、土地の高低測量記録書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>土質ボーリング試験結果報告書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>各種技術資料</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>各記録書</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本工事における官公庁等への届出書類一覧</p>			

(3)成果物に係る一般事項

- a. 設計図は、適宜追加してもよい。また、建築（構造）の成果物は、建築（総合）の成果物に含めることができる。
- b. 設計図には、発注者が使用する決裁欄を設け、押印欄には氏名（姓のみ）を記載すること。欄の数、記載内容、及び記載時期は、監督員との協議による。
- c. 成果物は、各成果物の電子データを格納したCD-R等での納品とし、提出部数は1部とする。また、紙出力が指定されている成果物は、CD-R等及び電子データを出力した紙を納品する。なお、電子データの無い成果物の納品方法は、監督員との協議による。
- d. CADデータの形式は、以下のいずれかとする。
なお、s f c形式で提出する場合は、J w _ c a d (<http://www.jwcad.net/>)の最新バージョンにおいて、正常に表示及び印刷できるか確認した後に提出すること。

CADデータの形式	■ j w w ・ ■ s f c ・ ■ p d f ・ □ _____
-----------	---------------------------------------

- e. CADデータ以外の電子データの形式は、監督員との協議による。
- f. 用紙の大きさが指定されていない成果物の大きさは、監督員との協議による。
- g. 工事費概算書は、積算を行う前に見積等により提出し、工事目途額以内となっているか監督員の承諾を得ること。

a. 共通

（ 年版等 ）

- 〈国〉官庁施設の基本的性能基準 (令和 2 年 3 月)
- 〈国〉官庁施設の設計段階におけるコスト管理ガイドライン (平成 27 年 3 月)
- 〈国〉官庁施設の総合耐震・対津波計画基準 (平成 25 年 3 月)
- 〈国〉官庁施設の総合耐震診断・改修基準 (平成 8 年)
- 〈国〉官庁施設の防犯に関する基準 (平成 21 年 6 月)
- 〈国〉官庁施設の環境保全性基準 (令和 4 年 3 月)
- 〈県〉埼玉県環境配慮方針 (平成 31 年 4 月)
- 〈県〉埼玉県グリーン調達推進方針 (令和 4 年度)
- 〈市〉深谷市グリーン購入推進方針 (平成 21 年 4 月)
- 〈国〉官庁施設のユニバーサルデザインに関する基準 (平成 18 年)
- 〈県〉埼玉県福祉のまちづくり条例 (平成 16 年 3 月)
- 〈県〉埼玉県公共事業景観形成指針 (平成 25 年 4 月)
- 〈国〉木造計画・設計基準 (平成 29 年)
- 〈国〉木造計画・設計基準の資料 (平成 29 年)
- 〈県〉県有施設の木造化・木質化等に関する指針 (平成 31 年 3 月)
- 〈市〉深谷市環境基本計画 (平成 30 年 3 月)
- 〈市〉新エネルギーの導入及び利活用施策基本方針 (平成 25 年 6 月)
- 〈市〉深谷市有施設の木造化・木質化等に関する方針 (平成 28 年 12 月)
- 〈市〉深谷市レンガのまちづくり条例 (平成 29 年 4 月)
- 〈市〉深谷市開発行為等指導要綱 (平成 27 年 7 月)
- 〈国〉評価方法基準（住宅の性能に関する評価の方法の基準） (令和 3 年 12 月)
- 〈国〉公営住宅等整備基準 (平成 24 年 4 月)
- 〈国〉公共住宅建設工事共通仕様書 (令和 元年)
- 〈国〉公共住宅標準詳細設計図集（第 4 版） (平成 19 年)
- 〈国〉高齢者が居住する住宅の設計に係る指針 (平成 21 年)
- 〈県〉埼玉県県営住宅条例 (令和 4 年 3 月)
- 〈県〉建設工事に伴う騒音振動対策技術指針 (平成 29 年 4 月)
- 〈国〉建築物解体工事共通仕様書 (令和 4 年)
- 〈県〉彩の国建設リサイクル実施指針 (平成 14 年 3 月)
- 〈県〉建設副産物の手引き (令和 4 年 6 月)
- 〈県〉石綿飛散防止対策マニュアル (令和 4 年)
- 〈国〉建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル (令和 3 年 3 月)
- 〈国〉公共建築工事標準単価積算基準 (令和 4 年)
- 〈国〉公共建築工事標準単価積算基準 (令和 4 年)
- 〈国〉営繕工事積算チェックマニュアル (平成 29 年 4 月)
- 〈県〉埼玉県建築工事積算基準 (平成 29 年 4 月)
- 〈県〉埼玉県建築工事共通費積算基準 (平成 19 年 12 月)
- 〈県〉埼玉県電子納品運用ガイドライン (令和 4 年)
- 〈国〉官庁営繕事業における BIM モデルの作成及び利用に関するガイドライン (令和 4 年)
- 〈国〉BIM 適用事業における成果品作成の手引き（案） (平成 23 年 4 月)
- 〈県〉設計の点検実施要領

b. 建築	(年版等)
■<国>建築設計基準	(令和 4 年)
■<国>建築設計基準の資料	(令和 4 年)
■<国>建築構造設計基準	(令和 3 年)
■<国>建築構造設計基準の資料	(令和 3 年)
■<国>構内舗装・排水設計基準	(平成 27 年)
■<国>構内舗装・排水設計基準の資料	(平成 27 年)
■<国>建築工事設計図書作成基準	(令和 2 年)
■<国>建築工事設計図書作成基準の資料	(令和 2 年)
■<国>建築工事標準詳細図	(令和 4 年)
■<国>敷地調査共通仕様書	(令和 4 年)
■<県>埼玉県建築工事特別共通仕様書	(令和 2 年)
■<国>建築工事監理指針	(令和 元年)
□<国>建築改修工事監理指針	(令和 元年)
c. 建築積算	(年版等)
■<国>公共建築数量積算基準	(平成 29 年)
■<国>公共建築工事内訳書標準書式(建築工事編)	(令和 4 年)
■<国>公共建築工事見積標準書式(建築工事編)	(令和 4 年)
□<国>公共住宅建築工事積算基準	(令和 元年)
d. 設備	(年版等)
■<国>建築設備計画基準	(令和 3 年)
■<国>建築設備設計基準	(令和 3 年)
■<国>建築設備工事設計図書作成基準	(令和 3 年)
□<国>雨水利用・排水再利用設備計画基準	(平成 28 年)
■<国>公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)	(令和 4 年)
■<国>公共建築設備工事標準図(機械設備工事編)	(令和 4 年)
■<県>埼玉県電気設備工事特別共通仕様書	(令和 2 年)
■<県>埼玉県機械設備工事特別共通仕様書	(令和 2 年)
■<国>電気設備工事監理指針	(令和 元年)
■<国>機械設備工事監理指針	(令和 元年)
■<他>建築設備耐震設計・施工指針((一財)日本建築センター)	(2014 年)
■<他>建築設備設計計算書作成の手引((一社)公共建築協会)	(令和 3 年)
□<国>空気調和システムのライフサイクルエネルギー・マネジメントガイドライン	(平成 22 年度)
■<県>設備設計の留意事項(埼玉県都市整備部設備課)	(令和 4 年 4 月)
■<他>給排水衛生設備規準((公財)空気調和・衛生工学会)	(2019 年)
□<他>劇場等演出空間電気設備指針 2014((一社)電気設備学会)	(2014 年)
e. 設備積算	(年版等)
■<国>公共建築設備数量積算基準	(平成 29 年)
■<国>公共建築工事内訳書標準書式(設備工事編)	(平成 30 年)
■<国>公共建築工事見積標準書式(設備工事編)	(令和 3 年)
□<国>公共住宅電気設備工事積算基準	(令和 元年)
□<国>公共住宅機械設備工事積算基準	(令和 元年)